

助成年度：平成 13 年度

[所属] 大阪大学大学院 工学研究科

[役職] 助教授

[氏名] 阿部 信晴 (他計 4 名)

[課題]

大阪平野における広域地下水環境モニタリングのための 観測井の適正配置

[内容]

地下水観測井は、広域的な地下水位の時系列的監視のみならず、最近にわかに顕在化してきた地下水汚染に対しても、汚染の早期発見、汚染源の特定と汚染機構の解明に大きな役割を果たすものと期待されている。大阪では、第 2 次世界大戦後、過剰揚水による地盤沈下が発生し、この対策として多数の地下水観測井が沿岸地域に設置された。このため、地下水観測井が西大阪地域に偏在しており、観測井の規模・配置ともに大阪平野地下水盆全域での広域的な地下水環境モニタリングには不十分な状況が現在まで続いている。また、広域地下水環境モニタリングシステムを整備するためには地下水盆における広域地下水流動に関する情報が不可欠であるが、大阪平野地下水盆の広域地下水流動は未だ十分には把握されていないのが現状である。本研究は、大阪平野地下水盆広域地下水流動モデルの 3 次元地下水流動シミュレーション解析結果に基づいて、大阪平野における広域地下水環境モニタリングのための地下水観測井の適正配置を提案している。